



2008.10.1

号外岩手2区版

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

民主党岩手県第2区総支部

〒028-0065 久慈市十八日町2-24
TEL 0194-52-0221 FAX 0194-52-3677
http://hata-kouji.com

民主党は次期衆議院総選挙での岩手2区候補者に畑こうじさんの公認を決定。



さあ！政権交代の時。畑こうじ決意を語る。

私は岩手県北で生まれ育ち、大学卒業後、厳しい地域を良くしたいとの思いから国土交通省で18年間働きました。しかしながら、大きな改革を成し遂げ、国民が不安のない生活の場をつくるためには、政権交代しかないとの思いを強く持ち、公務員の地位を離れ、政治の世界に飛び込む決意で故郷に戻り3年半が経ちました。

前回の衆議院総選挙以来、毎日のように地域の皆さまの声を聞き、ともに悩み、考える日々を過ごしてきました。岩手2区は、現在の日本が抱える問題が典型的に現れた地域です。格差、年金、後期高齢者医療制度、燃料油の高騰、物価高などに起因する生活不安で溢れている地域の悲痛な声は、政府与党に届きません。今こそ、生活が第一の政治をつくるときです。官僚の既得権益の廃止、天下りの禁止、特別会計の廃止、予算の総組み替えなどにより、国民の生活を直接的に支援する仕組みに変えることこそが政権交代の意義であり、国民の権利であると考えます。

さあ、政権交代の時です。岩手2区を変えましょう。そして、日本を変えましょう。

小沢一郎総理実現に向かい、畑こうじは、背水の陣で次期総選挙を戦います。そして、皆さまとともに、活力ある岩手2区、元気な日本を創造して参ります。皆さまの力強いご支援を賜りますよう、心よりお願いいたします。

畑こうじ 岩手第2区 公認候補 世直しを誓う!



9月21日、民主党は東京都内のホテルで臨時党大会を開き、小沢代表の3選を正式に承認。

●解散総選挙迫る!! ●

小沢代表は所信表明で、「強固な官僚機構に守られた自公政権は限界だ。何一つ解決できないどころか、国民生活を放り投げて、総裁選ごっこに明け暮れてきた自民党は、異様、異常だ。自民党総裁は政権を投げ出すことができても、国民は生活を投げ出すことができない。」と述べると、会場から大きな歓声が上がりました。



岩手2区の「声を、ミチカラに。」

—新しい国民生活をつくる—

新しい政権の基本政策案

1. 全ての国民が安定した生活を送れる仕組みをつくります
(1) 確実・公正な「信じられる年金」の確立
(2) 誰もがいつでもサービスを受けられる医療・介護の確立
2. 安心して子育てと教育ができる仕組みをつくります
3. まじめに働く人が報われる雇用の仕組みをつくります
4. 地域社会を守り再生させる仕組みをつくります
(1) 農林漁業の再生 (2) 中小企業の再生
5. 国民の生活コストを安くする仕組みをつくります
6. 税金を役人から国民の手に取り戻す仕組みをつくります
7. 地域のことは地域で決める仕組みをつくります
8. 国民自身が政治を行う仕組みをつくります
9. 日本が地球のために頑張る仕組みをつくります
(1) 地球環境の保全 (2) 主体的な外交

プロフィール

昭和38年9月28日 岩手県久慈市大川目町生まれ(45歳)
久慈市立大川目小学校卒、大川目中学校卒、岩手県立盛岡第一高校卒
昭和61年10月 国家公務員I種(法律職)試験合格
昭和62年 3月 早稲田大学法学部卒業
昭和62年 4月 建設省(現国土交通省)入省
平成元年 2月 国土庁(現国土交通省)土地局土地利用調整課企画係長
平成2年11月 建設省建設経済局総務課収用係長
平成4年 4月 建設省道路局道路総務課企画係長
平成6年 4月 建設省近畿地方建設局道路部路政課長
平成7年 7月 国土庁計画・調整局総務課長補佐
平成9年 7月 建設省建設経済局国際課長補佐
平成10年 4月 在ドイツ日本大使館一等書記官
平成13年 5月 国土交通省総合政策局情報企画課長補佐
平成13年11月 都市基盤整備公団公園企画課長兼新法人設立準備室課長
平成16年 7月 独立行政法人都市再生機構営業推進室チームリーダー(課長)
平成17年 1月 国土交通省 退職
平成17年 2月 民主党岩手県第2区総支部長に就任
平成17年 9月 第44回衆議院総選挙岩手2区において出馬
平成20年 9月 第45回衆議院総選挙岩手2区公認候補に決定

趣味 旅行・音楽鑑賞・カラオケ・テニス 家族 妻・長女

衆議院岩手2区、選対本部設置

かつてない布陣で臨み、県内4選挙区で完全勝利を目指す。

民主党岩手県第2区総支部は23日、次期衆院選に向けて畑こうじ選挙対策本部を設置しました。

会議には工藤堅太郎県連代表、平野達男参院議員、主浜了参院議員、藤原良信参院議員をはじめ、伊藤勢至県議、工藤大輔県議、大宮惇幸県議、中平均県議、五日市王県議、大喜多正敏県議と2区内の全26市町村の後援会長など、約60名が出席しました。総



小沢代表は政治生命を懸けた最後の戦いと位置づけている。県連総力を上げて、全4選挙区で勝利する。特に畑君に全力を注ぐ。
県連代表 工藤 堅太郎



今の自民党政府では、政治と行政が癒着し、私たちの食の安全すら守れない。政権交代に向け、何としても2区も勝利する。
参議院議員 平野 達男



2区全域を回って見て、今までの反応とは違った手応え、追い風を感じる。政権交代は近い。畑こうじ君と共に勝利に向けがんばる。
参議院議員 主浜 了



自民党政治の終焉を感じる。県北・沿岸の生活を守るためには、国の仕組みを変えなければ大きな改革はできない。2区も必勝を期す。
参議院議員 藤原 良信

括責任者は高橋令則元参議院議員、そして、選対本部長には工藤県連代表が就任。平野参議院議員は同代理に、主浜・藤原両参議院議員は同副本部長に各々就任し、広い選挙区内を網羅できるような体制を整えました。2区勝利で政権交代を実現するため、「史上最大の作戦」を展開することに決し、畑こうじ後援会連合会会長には、元宮古市長の菊地長右エ門氏の就任を満場一致で決しました。選挙区勝利に意気上がる選対会議でした。

小沢一郎、日本再生の先頭に立つ事を誓う

自民党総裁は政権を投げ出すことができても、国民は生活を投げ出すことができない。

暮らしも地域も壊れた日本

2年半前代表に就任以来、全国を駆け回り国民生活の実態を見、国民の声を直接伺いました。「こんな思いをさせて、本当に申し訳ない」行く先々でそう思い、私は唇をかみしめました。小泉政権以来、市場万能、弱肉強食の政治を推し進めた結果、日本社会は公正さが失われ、あらゆる分野で格差が拡大し、いたるところで国民の暮らしも地域も壊れてしまいました。

予算総組替えて財源を確保する

私たちの新政権の目標である「新しい国民生活を創る」ために何が必要かの基準で、予算の優先順位を決めることにより、私たちの政策



を実現するのに必要な財源を十分確保します。一般会計と特別会計、事実上税である社会保険料を一体と捉え、税金の使い方を根本から改め、財政構造を大転換する「予算の総組替え」を実行することで財源は確保できます。

あなたの街に、畑こうじ!!

畑こうじは、日々政策を訴えるため2区内の街角に立っています。
畑こうじは、日々日本の将来と国民の生活のことを考えています。
畑こうじは、日々地域の実態を見、聞き、活動して学んでいます。

皆さまの「声を、チカラに」します、見かけたら一声かけて下さい。



社会を立て直す最後のチャンス

今ここで、国民本位の政権をつくり「新しい国民生活」を築き上げないと、日本社会は無残に崩れ去ってしまいます。また、国民自身が政権を選択し、議会制民主主義を定着させることのできるおそろく最後のチャンスになると考えられます。主権者である国民が決意すれば、政治は変えることができます。最終的な権力は国民自身が握っているのです。

今ここで、それを積極的に行使していただきたい。日本の未来、日本の命運を決するのは国民であるあなた方一人おひとりなのです。夢を抱きましょう。その夢を民主党とともに実現しましょう。政権交代を実現しましょう。

どうする ガソリン・燃料油の高騰

暫定税率を再び廃止し、ガソリンは25円、軽油は17円引き下げます。農業と漁業に約1,500億円の負担軽減策を実施します。

3つの具体策

1. 暫定税率を直ちに廃止し、**高速道路は無料化**します。
2. 道路特定財源は廃止して**福祉や教育**にも使えるように。
3. 漁業用、農業用燃料油の**高騰分を補てん**します。

※平成17年9月の価格を基準とした差額分。

どうする 後期高齢者医療制度

みんなで支え合い、高齢者も子どもも現役世代も、安心、納得して治療を受けられる医療制度にします。

3つの具体策

1. 後期高齢者医療制度は**すみやかに廃止**します。
2. **医師派遣制度**を創設し、病院崩壊を防ぎます。
3. **医療保険制度を一元化**し、公平な医療を実現します。

どうする 年金記録

中央省庁総がかり、地方自治体と民間の協力も求めて、国をあげて被害を救済します。

3つの具体策

1. 紙台帳とコンピューターの**記録を照合**します。
2. 「**年金通帳**」で「消えない」システムにします。
3. 全国民が**一つの年金**に加入する制度に改めます。

